

浮遊粒子状物質 (SPM)

(1) 一般局

表1に示すとおり一般局の北部、西南部、小立野局の3測定局全てで長期的評価及び短期的評価による環境基準を達成した。

年平均値は、図2に示すとおり過去10年間において減少傾向にある。また、全国平均と比較すると低い結果となった。

表1 一般局における浮遊粒子状物質の年間測定結果

測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	1日平均値 の年間2% 除外値	1日平均値 の最高値	1時間値 の最高値
	(日)	(時間)	(mg/m ³)	(mg/m ³)	(mg/m ³)	(mg/m ³)
北部	361	8688	0.009	0.025	0.061	0.074
西南部	358	8637	0.010	0.022	0.044	0.107
小立野	358	8637	0.010	0.023	0.030	0.086
本市平均			0.010	0.023		
全国平均 (R03)			0.012			
環境基準				0.10以下 (長期)	0.10以下 (短期)	0.20以下 (短期)

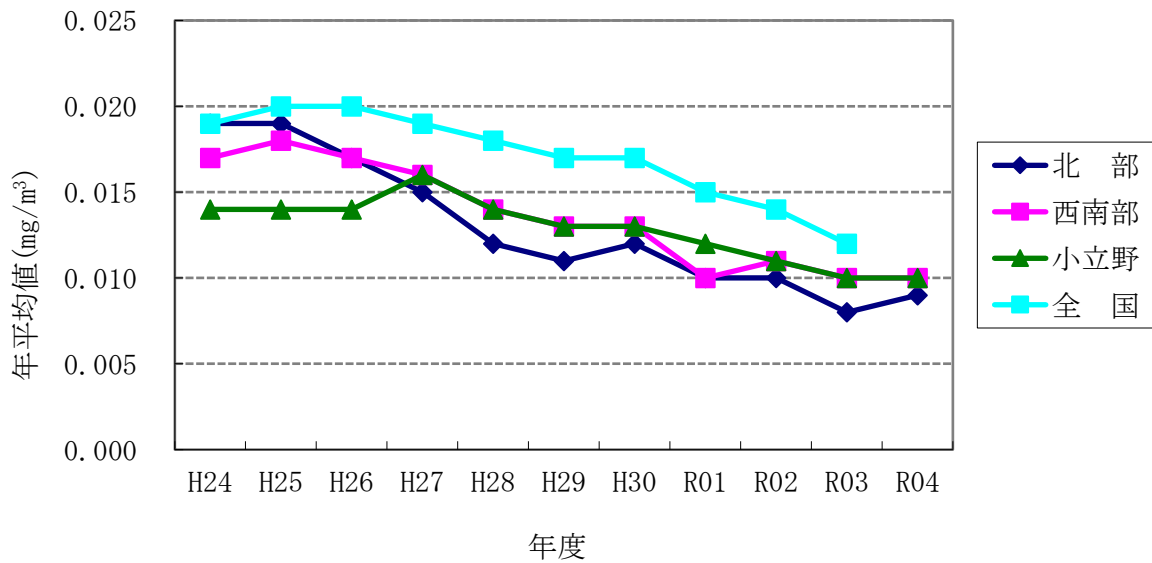


図1 浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化

(2) 自排局

表2に示すとおり自排局の武蔵、片町、山科局の3測定局全てで長期的評価及び短期的評価による環境基準を達成した。

年平均値は、図2に示すとおり過去10年間に於いて緩やかな減少傾向にあり、全国平均と比較しても同程度である。

表2 自排局における浮遊粒子状物質の年間測定結果

測定局	有効測定日数 (日)	測定時間 (時間)	年平均値 (mg/m ³)	1日平均値の年間2%除外値 (mg/m ³)	1日平均値の最高値 (mg/m ³)	1時間値の最高値 (mg/m ³)
武蔵	357	8620	0.010	0.020	0.040	0.062
片町	356	8604	0.014	0.029	0.045	0.183
山科	353	8560	0.009	0.021	0.042	0.055
本市平均			0.011	0.023		
全国平均 (R03)			0.013			
環境基準				0.10以下 (長期)	0.10以下 (短期)	0.20以下 (短期)

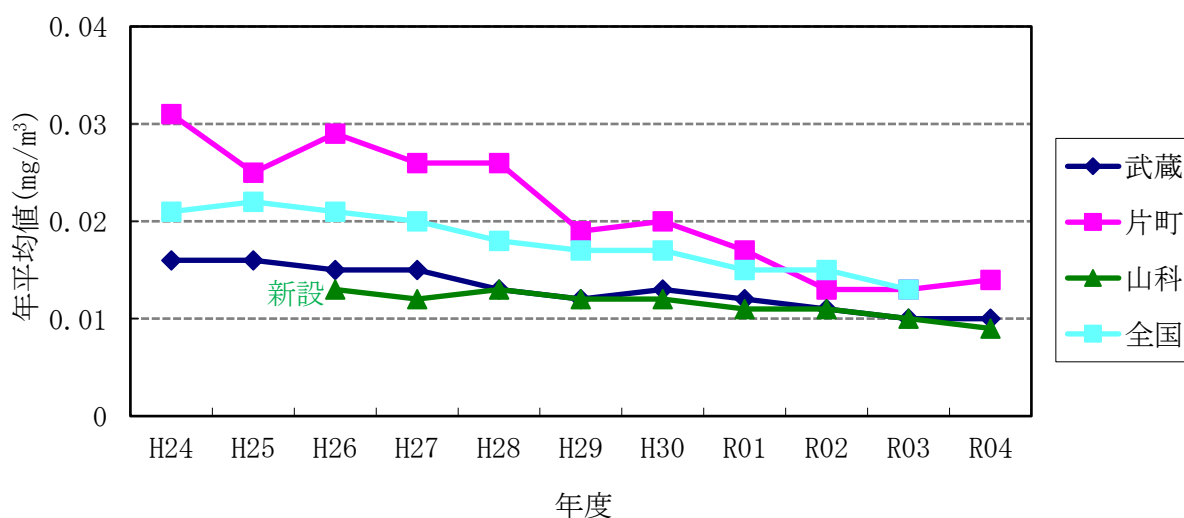


図2 浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化